



3 ス 庁 第 3 5 4 号
令和 3 年 7 月 15 日

各 都 道 府 県 知 事
各 指 定 都 市 市 長
各 都 道 府 県 教 育 委 員 会 教 育 長
各 指 定 都 市 教 育 委 員 会 教 育 長
各 国 公 私 立 大 学 長
各 国 公 私 立 高 等 専 門 学 校 長 殿
構造改革特別区域法第12条1項の

認定を受けた各地方公共団体の長
公益社団法人日本山岳・

スポーツクライミング協会会長
公益財団法人全国高等学校体育連盟会長

スポーツ庁次長

藤 江 陽 子

夏山登山の事故防止について（通知）

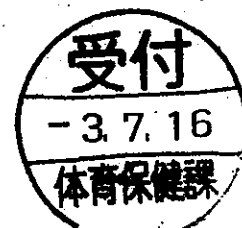
登山事故の防止については、例年関係各方面の御協力をいただいているところですが、本格的な夏山登山の時期においても、依然として遭難事故が多く発生しております。

登山における遭難事故は天候に関する不適切な判断、不十分な装備、体力的に無理な計画の立案などに起因することが多いことから、リスク管理の観点から事故防止を図るための万全の措置を行うことが必要です。

また、火山には、噴気や火山ガスが発生している危険な場所があります。登る山が火山の場合には、気象庁や各都道府県等が発表している最新の情報入手し、十分に注意する必要があります。

ついては、別紙参考資料「夏山登山の警告文」等を参考として、関係機関・団体及び関係者に周知するとともに、関係者の密接な協力の下、この趣旨を登山者に周知徹底され、事故防止に万全を期されるよう御配慮願います。

加えて、新型コロナウイルス感染症の拡大防止については、政府や都道府県の方針・要請に従い、適切な対応に努めていただくとともに、以下のとおり新型コロナウイルス感染症情報※をまとめておりますので、参考にしていただくようお願いします。



※新型コロナウイルス感染症関連情報

○スポーツ庁 HP

「新型コロナウイルス感染防止のための新しい登山様式（山岳遭難対策中央協議会）」

https://www.mext.go.jp/sports/content/20200807-spt_kensport01-000009263_3.pdf

「登山再開に向けてのガイドライン（公益社団法人 日本山岳・スポーツクライミング協会）」

https://www.mext.go.jp/sports/content/20200807-spt_kensport01-000009263_4.pdf

○文部科学省HP「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル～「学校の新しい生活様式」

https://www.mext.go.jp/a_menu/coronavirus/mext_00029.html

○厚生労働省HP「新型コロナウイルス感染症について」

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html#houshin

このことについて、都道府県知事におかれては、所管の関係部局・機関・団体及び高等学校（中等教育学校後期課程、特別支援学校高等部を含む。以下「高等学校等」という。）に対して、都道府県・指定都市教育委員会教育長におかれては、所管の関係部局・機関・団体及び高等学校等並びに域内の指定都市を除く市区町村教育委員会に対して、構造改革特別区域法（平成14年法律第189号）第12条第1項の認定を受けた地方公共団体の長におかれては、域内の学校設置会社及び当該会社が設置した高等学校等に対して周知願います。

また、公益社団法人日本山岳・スポーツクライミング協会及び公益財団法人全国高等学校体育連盟におかれては、各都道府県加盟団体等に周知するとともに、当該団体等において事故防止に係る積極的な取組が行われるよう御協力願います。

【担当】

（登山一般に関して）

スポーツ庁健康スポーツ課

担当：スポーツ安全係 伊藤、松井

電話：03-5253-4111（内線 3939）

アドレス：kensport@mext.go.jp

（部活動に関して）

スポーツ庁政策課学校体育室

担当：運動部活動推進係 青木、西戸

電話：03-5253-4111（内線 3777）

アドレス：staiiku@mext.go.jp

夏山登山の警告文

夏山を楽しむために道迷い、転倒、体調管理に要注意

令和3年7月 山岳遭難対策中央協議会

登山計画書の作成と提出は山頂への第一歩目です

例年、登山者が増加する夏山シーズンには遭難事故も増加します。

とりわけ、遭難者に占める中高年登山者の割合は7～8割と高く、道迷い、転・滑落、転倒などの事故が多発しています。

道迷い遭難の背景には、登山コースの事前学習不足や地図とコンパスの不携帯、地図読みスキルの不足等の原因があります。

転倒事故では、「つまづき」や「スリップ」といった些細なミスが原因となって、骨折等の重傷を負うケースが目立っています。山の中で大きな怪我をしてしまうと自力での下山は難しくなります。最後まで笑顔で登山を続けるために、一步一步慎重に歩きましょう。

また、夏山の天気は午後から崩れやすい傾向にあるので、「早発ち、早着き」が基本です。夕立が降る前に目的地に着いて、ゆっくり体を休めながら翌日のルートを再確認しましょう。余裕のある行動は夏山の楽しさと安全性を倍増させます。

皆さんの夏山登山が良い思い出になるように、次のことに留意してください。

○ 道に迷わないように登山地図アプリを活用しましょう

自分がどこにいるかわからなくなったら地図やコンパスだけでは役に立ちません。正確に現在地を知ることができるスマートフォン用の登山地図アプリの活用もお勧めします。なお、登山地図アプリの表示範囲は小さなスマートフォンの画面の制約を受けるため、広い範囲を俯瞰できる紙の地図と併用することで道迷いを防ぐことができます。

○ 入念な登山計画を立てましょう

登山は計画する段階から始まっています。対象山域の最新情報（山岳情報、気象情報、火山情報等）を入手し、入山中に考えられるリスク回避の対策を前もって立てるようにしましょう。

○ 次の一步に集中しましょう

登山では、たった一步の踏み間違いで大怪我をすることがあります。慎重に歩いて、自分の足で帰りましょう。

○ 水分をたくさんとりましょう

リュックを軽くするために飲み物を減らすのは絶対にやめてください。水分不足は熱中症や高山病のリスクを高めます。水分補給の目安は、次の式を参考にしてください。

$$\text{必要な水分量(ml)} = \text{体重(kg)} \times \text{行動時間(時間)} \times 5$$

○ 常備薬を持ちましょう

登山は体に大きな負担がかかります。体力の消耗だけでなく、標高の高さによる低酸素や流した汗による脱水、テントや山小屋生活でのストレスなど、目に見えない負荷がかかっています。常用している薬がある方は必ず持参してください。

○ ヘルメットを着用しましょう

転・滑落や落石の危険がある場所ではヘルメットを着用しましょう。毎年、「ヘルメットさえかぶっていれば…」という悲しい遭難事故が起っています。

【山岳遭難対策中央協議会構成省庁・団体】（太字は「幹事会」構成省庁・団体）

内閣官房 警察庁 環境省 気象庁 消防庁 林野庁 総務省 防衛省 スポーツ庁
（独）日本スポーツ振興センター （株）NTT （株）JR東日本 （公財）日本スポーツ協会
（公社）日本山岳・スポーツクライミング協会 群馬県 山梨県 静岡県 富山県 長野県

夏山装備チェックリスト

登山目的にあった装備を持参しよう。山岳保険への加入をすれずに。
(○は必ず持参のもの。△は状況によって持参のもの。)

品 名	品 名	品 名
○ズボン	○筆記具	△捜索用発信機
○シャツ	○携帯トイレ	△GPS
○靴下(ソックス)・予備靴下	○ロールペーパー	△カメラ
○登山靴	○タオル・手拭	△サングラス
○帽子	○ポリ袋	△伸縮式ストック
○手袋(グローブ)・予備手袋	○ヘッドランプ	
○防寒衣(フリース・セーター)	○ラジオ	△テント一式
○セパレート雨具	○予備電池・電球	△装備整理袋
○スパッツ	○粘着テープ	△シュラフ(スリーピングバッグ)
○行動食、非常食	○ナイフ	△シュラフカバー
○テルモス・水筒	○コッフェル・炊事用具	
○時計	○食器類	△ヘルメット
○スマートフォン(バッテリーパック)	○コンロ	△ハーネス
○高度計	○燃料・予備燃料	△ロープ
○コンパス	○ライター・マッチ	△カラビナ
○1/25000地形図		△スリング各種
○ルート図	○ホイッスル	
○登山計画書	○ツェルト	
○身分証明書	○マット	
○健康保険証	○レスキューシート	
○緊急連絡票	○ファーストエイドキット	

※この装備リストは夏山の標準的な装備です。対象とする山の難易度、登山方法により必要な装備は変わりますので、事前にパーティーで装備の要否や追加装備の有無をよく検討してください。

気軽なつもりでも「登山」 安全対策と山への感謝は忘れずに

※研修会、講習会等の問合せ先

(独)日本スポーツ振興センター 国立登山研修所 TEL: 076-482-1211
<http://www.jpnsport.go.jp/tozanken/>

(公社)日本山岳・スポーツライミング協会 TEL: 03-5843-1631
<http://www.jma-sangaku.or.jp/>

山岳遭難が多発しています!!

大丈夫? あなたの登山計画

気象条件、体力、経験等に見合った山を選択し、余裕のある安全な登山計画を立てましょう。

- 1 登山計画書はパーティ全員でよく検討し、作成しましたか。
- 2 入山前、入山中の気象情報を確認していますか。(携帯電話、ラジオ等)
- 3 気温の変化に備え、防寒対策は十分ですか。
- 4 エスケープルート(万一の時の逃げ道)は考えていますか。
- 5 応急処置のための医薬品や器具は準備しましたか。
- 6 緊急時の連絡手段は準備しましたか。(スマートフォンなどの予備バッテリーの確保も忘れずに!)
- 7 山岳保険の加入は済みましたか。
- 8 条例等で入山が規制されている地域でないか確認しましたか。

登山計画書はあなたの生命を守る命綱です。

【登山計画書の提出】

- 安全登山のための自己点検の機会となります。
- 遭難事故の発生を警察が認知した段階で、遭難した山域を早期に特定することが可能となり、捜索救助活動が迅速かつ合理的に行われます。
- 捜索救助活動にかかる膨大な社会的及び個人的負担を軽減させることができます。
- 家族や関係者を安心させることができます。

【提出先】

- 知事等(登山計画書の提出が条例で義務化されている場合)
- 家庭、クラブ(山岳会)、職場、学校など
- インターネットの登山計画サイト(山と自然のネットワーク「コンパス」など)
- 山域の登山指導センターや案内所、登山口の登山届ポストなど
- 山域を管轄する警察本部または警察署など

(インターネットを使って申請ができる警察本部等もあります。)

これまでも登山計画書を提出したことにより、早期に救助できた事例が数多くあります。登山計画書を提出することは、あなたの生命を守る命綱であると考えて必ず実行しましょう。また、登山計画書の提出先には、下山の報告を忘れずにしてください。

登山前からの最新の気象状況把握が重要

～天気予報を踏まえた計画と、登山中の急激な気象変化に細心の注意を～

山の天気は、平地とは比較にならないほど急変します。特に天気予報で「大気の状態が不安定」等が予想される場合は、急な大雨、落雷、突風等が起こりやすい状況です。また、台風等により大雨となった場合には、土砂災害や河川の増水等の危険が生じます。**登山の数日前から、最新の気象情報で今後の天気の見通しや早期注意情報（警報級の可能性）、火山の状況について確認し、ゆとりある計画作りが必要**です。また、**登山中も常に最新の気象情報**を利用し、**気象の急変等に備えた適切な判断が何より重要**です。

気象情報の入手先

常に最新の気象情報を利用することが大切です。ラジオやテレビの他、インターネットや携帯端末を利用した情報の入手も可能です。

(公社)日本山岳・スポーツライミング協会のホームページに、以下の入手先等をまとめているので、御利用ください。

<http://www.jma-sangaku.or.jp/tozan/plan/weatherforecast/>

□気象庁ホームページ

警報・注意報、キキクル（危険度分布）、天気予報の他、地上・高層天気図、気象衛星、アメダス、気象レーダー、ウインドプロファイラ（上空の風）等の様々な情報を確認することができます。

<https://www.jma.go.jp/jma/index.html>

□国土交通省防災情報提供センターホームページ

国土交通省防災情報提供センターホームページでは、河川、道路、気象等の各種防災に関する情報を見ることができます。

<http://www.mlit.go.jp/saigai/bosaijoho/>

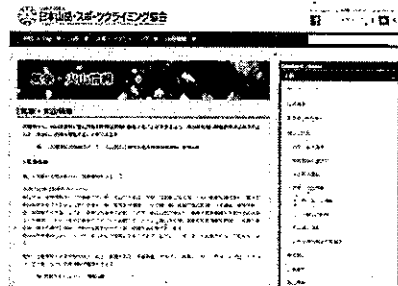
また、その一部を携帯端末向けホームページで見ることができます。

<http://www.mlit.go.jp/saigai/bosaijoho/i-index.html>

□民間気象会社等のサービス

民間気象会社等では、特定の山を対象に気象情報提供サービスを行っているところがあります。

(詳細は、各民間気象会社等にお尋ねください。)



気象庁ホームページ



防災情報提供センター
携帯端末向けホームページ (Top)



火山情報にも注意

気象庁では、「噴火警報」や「火山の状況に関する解説情報」などを火山ごとに整理した「火山登山者向けの情報提供ページ」(下記URL)を公開しています。

https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/activity_info/map_0.html

また、噴火の発生事実を迅速に発表する「噴火速報」は、ラジオやテレビのほか、民間事業者が提供する携帯端末のアプリ等で知ることが出来ます。火山の噴火に気づいた時、噴火速報が発表された時は直ちに身の安全を図りましょう。噴火速報の説明や民間事業者のサービスについては「噴火速報について」(下記URL)をご覧ください。

https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/funkasokuho/funkasokuho_toha.html

火山には、噴気や火山ガスが発生している危険な場所があります。登山する山が火山の場合は、火山にどのような危険があるのかを確認して、登山計画を立てましょう。

登山前には、気象庁や地元自治体が発表している最新の情報を確認し、十分注意して登山してください。



火山登山者向けの
情報提供ページ



噴火速報について

主な山岳地の登山についての問い合わせ

山 岳	気 象 情 報		山 岳 情 報	
			担当警察本部等	電話番号
主な山域の冬山情報	各地域の情報は地方気象台にお問い合わせ下さい。 https://www.jma.go.jp/jma/index.html		警察庁生活安全局 地域課	03-3581-0141
北海道全山域			北海道警察本部 地域企画課	011-251-0110
利尻岳 大雪山系 十勝岳	稚内地方気象台	(0162)23-2678	北海道警察 旭川方面本部地域課	
	旭川地方気象台	(0166)32-6368		0166-35-0110
八甲田山系	青森地方気象台	(0177)741-7411	青森県警察本部 地域課	017-723-4211
八幡平	盛岡地方気象台	(019)622-7868	岩手県警察本部 地域課	019-653-0110
	秋田地方気象台	(018)823-8291	秋田県警察本部 地域課	018-863-1111
	山形地方気象台	(023)622-2262	山形県警察本部 地域課	023-626-0110
鳥海山系	秋田地方気象台	(018)823-8291	秋田県警察本部 地域課	018-863-1111
	仙台管区気象台	(022)297-8104	宮城県警察本部 地域課	022-221-7171
蔵王山系	山形地方気象台	(023)622-2262	山形県警察本部 地域課	023-626-0110
	山形地方気象台	(023)622-2262	山形県警察本部 地域課	023-626-0110
飯豊連峰	新潟地方気象台	(025)281-5871	山形県小国警察署 新潟県警察本部 地域課	0238-62-0110
	福島地方気象台	(024)534-2162	新潟県警察本部 地域課	025-285-0110
	新潟地方気象台	(025)281-5871	新潟県警察本部 地域課	024-522-2151
巻機山連峰	新潟地方気象台	(025)281-5871	新潟県警察本部 地域課	025-285-0110
苗場山	長野地方気象台	(026)232-2034	群馬県警察本部 地域課	027-243-0110
谷川岳	新潟地方気象台	(025)281-5871	群馬県警察本部 地域課	027-243-0110
草津白根山	長野地方気象台	(026)232-2034	群馬県警察本部 地域課	027-243-0110
丹沢山系	横浜地方気象台	(045)621-1991	神奈川県警察本部 地域総務課	045-211-1212
奥秩父山系			埼玉県警察本部 地域総務課	048-832-0110
			長野県警察本部 山岳安全対策課	026-235-3611
			山梨県警察本部 地域課	055-221-0110
南アルプス 富士山	甲府地方気象台	(055)222-2347	山梨県警察本部 地域課	055-221-0110
	静岡地方気象台	(054)286-3411	静岡県警察本部 地域課	054-271-0110
	長野地方気象台	(026)232-2034	静岡県警察本部 地域課	054-271-0110
北アルプス 中央アルプス 南アルプス 八ヶ岳	長野地方気象台	(026)232-2034	長野県警察本部 山岳安全対策課	026-235-3611
北アルプス	岐阜地方気象台	(058)271-4109	山梨県警察本部 地域課	055-221-0110
	富山地方気象台	(076)432-2311	富山県警察本部 山岳安全課	076-441-2211
	岐阜地方気象台	(058)271-4109	岐阜県警察本部 地域課	058-271-2424
大峰山系 大台山系	奈良地方気象台	(0742)22-2555	奈良県警察本部 地域課	0742-23-0110
大山	鳥取地方気象台	(0857)29-1312	鳥取県警察本部 地域課	0857-23-0110
剣山系			高知県警察本部 地域課	088-826-0110
石鎚山系	松山地方気象台	(089)941-0012	愛媛県警察本部 地域課	089-934-0110
	高知地方気象台	(088)822-8881	高知県警察本部 地域課	088-826-0110
脊振山系 多良山系	佐賀地方気象台	(0952)32-7027	佐賀県警察本部 地域課	0952-24-1111
霧島山系 屋久島山系 開聞岳	鹿児島地方気象台	(099)250-9913	鹿児島県警察本部 地域課	099-206-0110

登山計画書(登山届)

年 月 日

御中

目的の山域・山名					
入山日				最終下山日	(予備日含む)
役割	氏名	性別	年齢	住所	緊急連絡先・氏名
	生年月日			電話(携帯電話)	住所または電話(携帯電話)

日程	行動予定
(1) /	
(2) /	
(3) /	
(4) /	
(5) /	
荒天・非常時 対策 エスケイブルート	

◎所属している山岳会・サークルについて記入してください。

団体名 _____

所属 _____ 山岳連盟(協会) 緊急連絡先

代表者氏名 _____

氏名 _____

代表者住所 _____

住所 _____

代表者電話 _____

電話 _____

代表者携帯電話 _____

救助体制 ある (名) なし

搜索費用にあてる保険加入の有無 あり なし

保険会社名 ()

(概念図)

テント(型・人用・張)	
ツェルト(人用・張)	
ロープ(m・本)	
通信機器(台・MHZ)	
食料(日分)	(予備食含む)
非常食(日分)	
燃料(日分)	

(その他連絡事項)

- 提出先** 家庭、クラブ(山岳会)、職場、学校など
山域の登山指導センターや案内所、登山口の登山届ポストなど
登山地域の都道府県警察本部地域課(北海道を除き県庁所在地にあります)
または山域を管轄する警察署、交番、駐在所
- 注意** 登山計画書を提出したところには、必ず下山の報告をすること
条例に基づく登山届出(提出義務があります)は所定の届出先に提出すること

※登山計画書の記入例については、(公社)日本山岳・スポーツクライミング協会のホームページまで
<http://www.jma-sangaku.or.jp/>

新型コロナウイルス感染防止のための新しい登山様式

これから登山を行うにあたり、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を最大限講じた新しい登山様式が必要です。登山愛好者の皆様におかれてはこの「新しい登山様式」を参考にしていただき安全安心な登山を楽しみましょう。

A：登山計画とアプローチ

- 最初は歩行時間の短いハイキングや日帰り登山から始め、体力を確認しましょう。
- 山域を管轄する自治体の移動制限等の情報、公共交通機関の運行状況や登山口までのアクセス情報を必ず確認してください。
- テント場や山小屋を利用する際は事前に管理者に連絡し、運営状況や感染拡大防止のためのルールを確認してください。
- メンバー数は密集・密接を避けるため少人数を推奨します。
- 接触確認アプリ「COCOA」を積極的に活用してください。



B：登山前の体調管理

- 日頃から自身の体温、健康管理を行いましょう。
- 平熱を超える発熱や少しでも風邪症状があれば入山を中止してください。
- 家族、友人、身近な知人等に感染が疑われる方がいる場合、また過去（2週間前以内）に感染者と接触した場合も入山は控えてください。



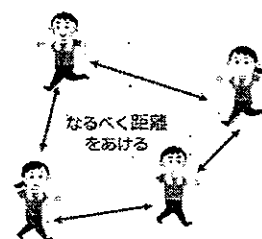
C：登山装備（通常の登山装備に加えて）

- 日帰り：マスク（バンダナなどでの代用も可能）、アルコール消毒液、体温計（接触型）、使い捨て手袋、ファスナー付きポリ袋
- 宿泊：寝袋（小屋に寝具がある場合も持参）、ウェットティッシュ
- 自分が出したゴミは密封し、必ず持ち帰るようにしましょう。



D：登山行動中

- 行動中は周囲の人と2 m以上の距離をあげましょう。熱中症のリスクが高くなることから、行動中に息苦しさや暑さを感じる際はマスクを外しましょう（会話をする等、状況に応じてマスクを着用）。
- アルコール消毒液でこまめに手指消毒を行いましょう。
- 体調不良のメンバーがでた場合は新型コロナウイルス感染症を念頭において手当しましょう。
- 自力歩行が可能な場合は速やかに下山してください。



おわりに

登山者自身が今までの登山とは異なり、常に感染予防が必要であることを意識しながら新しい登山様式を心がけてください。

団体名

作成：全国山岳遭難対策中央協議会

参考：日本山岳・スポーツライミング協会「登山再開に向けてのガイドライン」より